



# 平安

あったかハートで Hey!安心!!

6月号

## 1秒を大切に 1秒で幸せに

学校長 中村 浩子

6月10日は、1920年に制定された「時の記念日」です。そこで、朝会で「1秒」について考えてほしいことを話しましたので、今回はそれを紹介します。

1つめは、「1秒1秒を大切に」ということです。たかが1秒と思うかもしれませんが、今この1秒間にいろいろなことが起こっています。大草原にいるチーターは、1秒間に28m駆け抜け、これからの季節に出る蚊は1秒間に500～1000回羽ばたきます。世界中のニワトリが1秒間に33000個の卵を産みます。わたしたちは1秒間にどんなことができるのでしょうか。玄関で靴をそろえる、落ちていたものを拾う、使わないときの電気を消す、道路を渡るときに左右を確認する、まだまだありそうです。1秒でできることを増やし、大切な「時」にしていきたいです。

2つめは、「1秒で人を幸せに」ということです。テレビのCMでも使われていましたが、こんな詩を見つけました。

### 『一秒の言葉』

小泉 吉宏

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、

一生のときめきを感じることがある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、

人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で、

勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で、

幸せにあふれることがある。

「ごめんねさう」

この一秒ほどの短い言葉に、

人の弱さを見ることがある。

「せよつなら」

この一秒ほどの短い言葉が、

一生の別れになる時がある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命、一秒。

わたしたちは、たった1秒の言葉で人を幸せにすることができます。でも、残念なことになった1秒の言葉で不幸せにすることもあります。そんな言葉は使いたくありません。まわりにいる友達や先生、家族や地域の方々が幸せになるような言葉を使い、温かくうれしい気持ちになるよう、よく考えて会話したいものです。

人を幸せにする言葉をたくさん使えるように、この詩だけではなく、平安小ではどんな「一秒の言葉」があるか子どもたちに投げかけてみました。どれくらいの「一秒の言葉」が集まるかわかりませんが、今後ご紹介できればと思っています。保護者や地域の皆様も、一秒にどんな思いをこめたいか、よろしければ作ったものをお知らせください。

みんなで思いやりのこもった「一秒の言葉」や行動を、気軽に、時には勇気を出して伝え合って、私たちみんなが、気持ちよく生活したり、学習したりできるような温かな雰囲気を醸し出していきたいです。

一生は1秒の積み重ねです。平安小の子どもたちが、すてきな1秒、人のためになる1秒を積み重ねて幸せに過ごせるようにしていきたいと思っています。今月もご協力をよろしくお願いいたします。